

久米島におけるトビイカ釣り漁業の漁獲物組成を明らかにすることことができなかつたので、
具志川港川について調査した。

港川では漁獲物のほぼ全量が漁業協同組合に集荷されるので、セリ台帳を集計することによりトビイカ釣り漁業の漁獲物組成を調べることができる。港川における昭和51年の7月と9月のトビイカ釣り漁業の漁獲物組成を示したのが表11である。この年の港川トビイカ漁業は6月下旬から始まって9月下旬に終つた。トビイカの漁獲量が最も多い月は9月であった。表11をみると、トビイカ釣り漁業がトビイカ以外の漁獲物に大きく依存していることが分かる。トビイカ釣り漁業の漁獲物組成は、時期により異なり、漁場によっても異なるはずであるが、港川以外の所においてもトビイカ以外の漁獲物の占める割合はかなり大きいことが予想される。久米島においては港川ほど他の漁獲物に依存しているようではないが、それでも、トビイカ以外の大物の漁獲物があるからトビイカ釣りに出かけるのであって、そうでなければ魅力はない、という漁業者は多い。

操業時間

しかし、大物の漁獲物に恵まれる機会は多くない。例えば、51年7月にトビイカ漁に出た港川の漁業者は延べ82人であったが、そのうちマグロを釣り上げたのは15人、メカジキは16人、サメ25人、9月には延べ167人のうちマグロを揚げたのが9人、メカジキ10人、サメ16人であった。ちなみに、このときの1人当たりのトビイカ漁獲量は、1出漁日あたり7月には9.7kg、9月には27.9kgであった。これらの数字から、あまり当てにはならない大物の漁獲物を期待して出かけたトビイカ釣り漁業者の帰途につく時のがっかりしたような姿が浮び上がる。

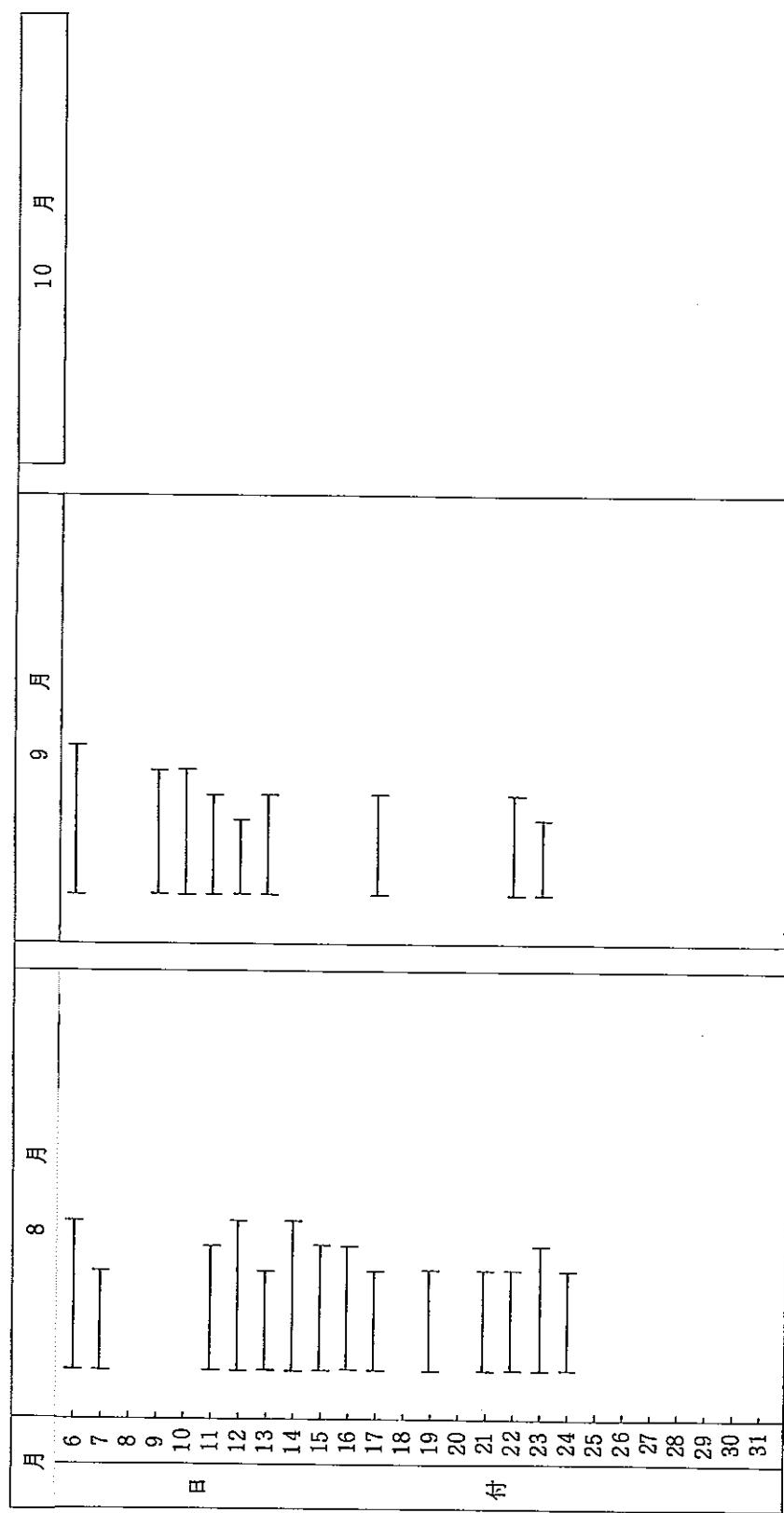
⑨ 操業時間

図5は漁業者Aのトビイカ釣り漁業の出港時刻と帰港時刻を調査した結果を示したものである。漁業者B、Cについてもほぼ同様な状況であった。Aの漁業根拠地は真泊で、漁場に到着するまでの所要時間は、南西側漁場で2時間以内、北東側漁場で30分以内である。図5から分るように8月にはほぼ一晩中操業するのに対し、9月以降になると操業する時間が短くなる。その理由として、Aは次のように語った。

- (1) 夏のイカは一晩中少しづつ釣れるが、9月以降になると日没後2~3時間と日出前2~3時間に集中する。
- (2) 朝までかかってたくさん釣っても売るのに困る。

出港時刻	帰港時刻	航行時間	漁獲量	運送方法
01	07時45分	6時	700kg	船の手
001	06時00分	6時	80kg	船の手

図5 トビイカ釣り漁業の操業時間（昭和56年、久米島）





THE HISTORY OF THE UNITED STATES

BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY JAMES MCGOWAN, JR., PH.D.

1880